

令和7年度の事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人

まちづくり機構ユマニテさが

1 事業の成果

中心市街地整備推進機構として発足以来、当法人の基本方針としている（１）住む人を増やす、（２）来る人を増やす、（３）まちづくりに参画する人を増やす、（４）活動の強化、に沿って事業を実施した。

「住む人を増やす」については、平成１２年度を底として、中心市街地の人口は平成３１年度までは増加傾向にあったが、その後は減少傾向に転じている。街の活性化のためには、中心市街地に住む人、住み続ける人を増やすことが重要であることから、街なかの店舗、歴史、文化、日常の魅力を発信するとともに、遊休不動産の活用促進、空き店舗等に関する相談対応、出店希望者と物件所有者とのマッチング支援などを行った。これらの取組を通じて、街なかで暮らすこと、働くこと、事業を始めることへの関心を高め、生活の場としての中心市街地の魅力向上に努めた。

「来る人を増やす」については、街が賑わうためには、継続的に来街者を増やし、街なかでの回遊や消費につなげていくことが必要であることから、引き続き集客力の高いイベントや情報発信事業を実施した。特に、SAGAアリーナ等で開催されるプロスポーツやライブイベントの来訪者を街なかへ誘導する取組では、指定駐車場の無料化や街なか店舗で利用できるクーポンの発行により、中心市街地への誘客と消費喚起に一定の成果が見られた。また、さが銀天夜市、エビスビアパーティ、バルーンフェスタ・サテライトイベント、佐賀城下ひなまつり街なか賑わいづくりイベント、バルWEEK さが、楠の杜手づくり市など、年間を通じて多様なイベントを実施・支援し、街なかへの来訪機会の創出と回遊性の向上を図った。

「まちづくりに参画する人を増やす」については、より多くの人々がまちづくりに関わることで、街に愛着を持つ人が増え、継続的な賑わいづくりにつながることから、市民、事業者、学生、地域団体等が主体的に活動できる機会の創出に取り組んだ。中央大通り賑わい創出活動支援事業では、民間事業者や商店街等による自主的なイベントの実施を支援し、新たなプレイヤーの発掘につながった。また、BOOK マルシェさが、ほとめきぶらり旅、佐賀まちゼミ、キッズ街なかお仕事体験フェス、わいわい!!コンテナ２での各種イベントやワークショップ等を通じて、街なかで活動する人材の育成、交流の場づくり、次世代の担い手づくりに努めた。

「活動の強化」については、自主事業として、共通駐車サービス券事業、えびす駐車場事業、まちづくり支援自動販売機事業等を実施し、中心市街地への来街者の利便性向上と法人の自主財源の確保に取り組んだ。共通駐車サービス券事業では、街なか店舗等と駐車場、公共交通機関が連携する仕組みを維持し、えびす駐車場事業では来街者の駐車需要に対応しながら安定した運営に努めた。また、公式ホームページやSNS、街なかかわらばん佐賀等による情報発信を継続するとともに、会員・理事への情報提供を行い、法人活動への理解と参画を促した。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

- ① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業
- ② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業
- ③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業
- ④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業
- ⑤ 中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業
- ⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業
- ⑦ 中心市街地公共空地の管理事業
- ⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業
- ⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及び譲渡する事業
- ⑩ 中心市街地の商業の充実を図るための事業
- ⑪ 中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業
- ⑫ その他定款第3条の目的を達成するために必要な事業

その他の事業

- ① 駐車場業
- ② 不動産仲介業

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 人数	事業費の 支出金額 (単位: 千円)
① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業	街なかかわらばん発行事業 紙媒体(隔月発行)とWEB(ホームページやInstagram、フェイスブックページ等)で、店舗情報を中心に、街なかの日常を発信し続けている。英語版のホームページの開設など、魅力向上に努めている。またWEBのアクセス数は開設以来、毎年漸増している。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 中心市街地に 関わる者 (E) 不特定多数	2,752
	ホームページ運営事業 ホームページ、フェイスブック、Instagramに情報を発信し細かなフォローを実施した。街なかかわらばん版との連携を強化し、アクセス数の向上に努めた。	(A) 通年 (B) 当法人事務所 (C) 2人	(D) インターネット 利用者 (E) 不特定多数	463
	その他の情報発信 ぶんぶんテレビの「街なか情報」出演やFM佐賀にイベント情報の告知を依頼する等、広報活動を行った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 3人	(D) 佐賀市(コミュニティFMは旧市街地・小城地区) (E) 不特定多数	375

	駅前時計台垂れ幕 さが維新広場内時計台の看板を活用し、中心市街地で開催されるイベント情報を提供した。	(A) 通年 (B) 駅前 (C) 1人	(D) 中心市街地に関わる者 (E) 不特定多数	708
	① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業 (事業費合計)			4,298
② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業	街なか遊休不動産活用促進事業 遊休不動産の所有者に対し、その活用に対する意識啓発を図るとともに、その活用促進を行った。 事業者からの相談受付、空き店舗見学会の企画・運営、支援体制の構築・運営等、遊休不動産の発掘・案内等、支援制度にかかる広報・啓発等を行った。	(A) 空き店舗見学会 令和7年5月27日・7月29日・9月30日・11月26日、令和7年1月27日・3月24日 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 物件活用希望者 (E) 52人	2,473
	わいわい!!コンテナ2管理運営事業 「新たなプレイヤーの発掘」と「商店街の回遊性向上」を重視し、マルシェイベントやチャレンジコンテナの事業を通じて、近隣店舗との連携や、新規出店を目指す事業者の支援や発掘につながるよう事業を実施した。また、地元の高校生を交えたワークショップ等を行い、コミュニティ組織の連携及び育成を実施する事ができた。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) コンテナ来場者 (E) 63, 195人	11,953
	街なか交流広場管理事業 佐賀市街なか交流広場(656広場)の指定管理者として施設を管理し、イベント開催等活動促進を図った。イベント等における利用者は前年を上回った。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 3人	(D) 広場の利用者及び観客 (E) 39, 888人	5,400
	佐賀商工ビル管理事業 佐賀商工ビルの運営管理をユマニテさがのスタッフが一部担うことにより、街づくりの連携強化を図った。	(A) 通年 (B) 白山二丁目 (C) 1人	(D) 市民 (E) 不特定多数	3,374
	② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業			23,200
③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業	共通駐車サービス券事業 中心市街地内の35か所の駐車場と契約し、サービス券登録の商店で買物した客の駐車利便性を向上させるため事業を実施した。	(A) 通年 (B) 中心市街地 (C) 2人	(D) サービス券利用登録店舗での利用客 (E) 不特定多数	3,170
	③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業			3,170

④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業	未実施			
	④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業			
⑤ 中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業	バルーンフェスタ・サテライトイベント 佐賀インターナショナルバルーンフェスタの賑わいを街なかへ呼び込むイベントとして開催。	(A) 令和7年10月30日～11月3日 (B) 656広場、新馬場通り芝生広場等 (C) 3人	(D) 来場者 (E) 4,714人	1,325
	BOOK マルシェさが事業 本を媒介にした人と人との出会い、本の楽しさ面白さを発見することによる文化の底上げを図った。 トークショーや一箱古本市、ビブリオバトル、おはなし会などを実施した。 地元で開催のイベント「呉服元町 HALLOWEEN」と同時開催し、より広い層の来客があり、相乗効果がえられた。	(A) 令和7年10月25日、26日 (B) 656広場、呉服元町周辺 (C) 5人	(D) 出店者・来店者 (E) 1,034人	2,598
	佐賀城下ひなまつり賑わいづくりイベント 街なかの賑わいづくりを目的に、佐賀城下ひなまつりの開催(令和8年2月14日～3月15日)に合わせて、中心市街地のエリア内でイベントを開催した。	(A) 令和8年2月14日・15日・22日、3月15日 (B) 656広場 (C) 4人	(D) 来訪者 (E) 2,628人	2,446
	ほとめきぶらり旅 佐賀の街なかで活動するプレイヤーの発掘や街なかへの誘客につなげることを目的に、街なかを散策し佐賀の街なかの魅力(人、街並み、歴史、お店、グルメ)を知ってもらう機会を提供した。	(A) 令和8年3月14日 (B) 中心市街地内 (C) 2名	(A) 県内外の応募者 (B) 20人	1,196
	⑤ 中心市街地の歴史伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業			7,565
⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業	未実施			
	⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業			
⑦ 中心市街地公共空地等の管理事業	656広場横芝生広場管理 旧オギハラ跡の芝生広場を656広場利用者の駐輪場として管理した。	(A) 通年 (B) 呉服元町656広場南側 (C) 1人	(D) 地域住民及び656広場利用者 (E) 不特定多数	424

	⑦ 中心市街地公共空地等の管理事業			424
⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業	実施しなかった。			
	⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業			
⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡する事業	実施しなかった。			
	⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡する事業			
⑩ 中心市街地の商業の充実を図るための事業	得するまちのゼミナール 街なかの商業者等が自ら講師となり、専門知識やプロならではのコツを伝える「まちゼミ」を実施することで、個店の魅力向上、新規顧客の獲得、店舗間の連携促進を図ることを目的として実施した。 令和7年度は、第11回佐賀まちゼミに加え、キックオフイベントとして「キッズ街なかお仕事体験フェス」を開催し、子どもや親子に街なか店舗の魅力を体験してもらう機会をつくった。	(A) 運営ミーティング 令和7年6月30日 ・事前ミーティング 令和7年7月30日 ・直前説明会 令和7年9月8日 ・キックオフイベント 令和7年9月20日 ・ゼミ開催 令和7年9月27日～10月26日 ・結果報告会 令和7年12月17日 (B) 佐賀商工ビル、中心市街地 (C) 1人	(D) 地域住民及び来街者 (E) 177人(まちゼミ)/300人(キックオフイベント)	1,361
	エスプラッツ祭 佐賀城下栄の国まつりの開催に合わせて、エスプラッツビルとその周辺の賑わいづくりのために実施した。	(A) 令和7年5月31日・6月1日 (B) エスプラッツビルとその周辺 (C) 4人	(D) 地域住民及び来街者 (E) 20,000人	1,250
	第19回桶の杜手づくり市事業 全国の手づくり作家が集まる手づくりアートフェスタ。ひなまつりイベントにあわせて開催し、街なかの回遊性向上につながった。	(A) 令和8年3月7日・8日 (B) 龍造寺八幡宮境内 (C) 6人	(D) 出店数、来訪者 (E) 62店 2,545人	2,501
	戦略的商機能等集積支援事業 商業施設を中心市街地に呼び戻すため、出店意欲が旺盛な希望者が、出店できない状況を支援するため補助や支援をおこなった。今年度は3件の事業者を新規採択し支援した。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 中心市街地で出店を希望する者 (E) 不特定多数	3,383

	街なか出店伴走支援事業 商店主向けのスタートアップ支援事業。中心市街地の空き店舗で商売を実践しながら毎月の経営支援プログラムを受講させ独り立ちを支援した。	(A) 通年 (B) 佐賀市白山 (C) 1人	(D) 県内外の新規起業を志す未経験又は経験の浅い商業者 (E) 支援対象の出店者5店舗	2,401
	佐賀市街なか交流広場活用事業 市民が街なかへ訪れるきっかけをつくり、街なかへの新たな来訪者の発掘につながるよう、佐賀市街なか交流広場(656広場)を活用したイベントを開催した。	(A) 令和8年3月7日 (B) 656広場 (C) 1人	(D) 来場者 (E) 2,000人	956
	バル WEEK さが2025 中心市街地の飲食店の食べ歩き・飲み歩きイベント。参加店の新規開拓に寄与するとともに、街なかの活性化を進めることが狙い。参加店一店舗あたりの経済効果、参加店の機運、事務局運営の効率化をそれぞれ高めることができた。	(A) 令和8年2月13日～2月27日 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 市民 (E) パスポート販売冊数 911冊	772
	さが銀天夜市協賛事業 商店街の恒例イベントで、主に銀天夜市期間中に656広場で実施するイベントの企画実施や協力支援を行った。	(A) 令和7年7月5日から8月2日までの土曜日 (B) 656広場、わいわい!!!コンテナ2 (C) 1人	(D) 市民 (E) 6,800人	659
	エビスビアパーティー ビアガーデンスタイルのイベントを開催し、街なかへの誘客効果を上げる事ができた。	(A) 令和7年7月23日 (B) 656広場 (C) 5人	(D) 市民 (E) 来場数350人	1,216
	中央大通り賑わい創出活動支援事業 中央大通りエリアの日常的かつ継続的な賑わい創出に寄与するイベント等を開催する主体を支援することにより、主体的に活動するプレイヤーを増やし、中央大通りエリア及び中心市街地の活性化を図ることを目的として、実施団体等への補助、支援を行った。	①地域活性化プロジェクト「おじさんトレカ」 (A) 令和8年2月21日 (B) 唐人町緑道広場、ARKS (C) 県庁通り商店連盟 ②さが謎解き街歩きリコットとふしぎなどうぐ箱 (A) 令和7年10月1日～11月30日 (B) JR 佐賀駅～佐賀城公園 (C) 株式会社戸上電機製作所 ③ストリート音楽会	(D) 市民 (E) 参加者 ① 30人 ② 500人 ③ 500人 ④ 200人 ⑤ 200人 ⑥ 300人 ⑦ 150人	3,326

		(A) 令和7年11月7日、14日、21日 (B) 中央大通り 5か所 (C) 唐人町商店街振興組合 ④ SAGA マチ de Dance (A) 令和7年12月20日 (B) 唐人町緑道広場、エッジ国際美容専門学校 (C) 学校法人前田文化学園 ⑤ にこたまキッズパーク (A) 令和7年11月2日、3日 (B) 佐賀玉屋北側「にこたま通り」周辺、唐人町緑道広場 (C) 株式会社佐賀玉屋 ⑥ にこたまキッズパーク (A) 令和7年12月6日 (B) 佐賀玉屋北側「にこたま通り」周辺、唐人町緑道広場 (C) 株式会社佐賀玉屋 ⑦ にこ玉アーバンスポーツ DAY (A) 令和8年2月8日 (B) 佐賀玉屋北側「にこたま通り」周辺 (C) 株式会社佐賀玉屋		
	学生チャレンジマルシェ事業 佐賀市を中心とした県内の学生の学外活動を支援し、生産物等の販売会を開催した。	(A) 令和7年4月26日、9月27日 (B) 株式会社佐賀玉屋 (C) 1人	(D) 佐賀県立高志館高等学校、 (E) 200人	32

	街なかリーディング SAGAアリーナにイベント参加者に対して街なかの駐車場を無料開放する事でイベント前後での街なかの消費・回遊を楽しんでもらう賑わい効果を検証した。	(A) 令和7年4月10日から令和8年3月15日までの期間のうち44日 (B) 中心市街地内 (C) 2名	(D) 県内外の駐車場利用者と中心市街地内のサガマチランデブー参加店 (E) 5,845人	7,374
	⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業			25,231
⑪ 中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業	古賀ビル管理事業 佐賀県が進める「地方創生事業」の一環として「デジタル・ハリウッド」がオープンした。当法人はオーナーから物件を借り、転貸を実施している。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 中心市街地に出店を考える事業者及び建物所有者 (E) IT技術を習得したい不特定多数	2,016
	⑪中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業			2,016
⑫その他定款第3条の目的を達成するために必要な事業	のまん缶太事業 飲料水の街づくり支援自動販売機を設置し、来街者の利便性向上を図った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 市民 (E) 不特定多数の購買者	1,039
	本部会計事務費 人件費や租税公課、交際費等NPOの活動に必要な補助的経費の管理を行った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 市民 (E) 不特定多数	138
	⑫その他第3条の目的を達成するために必要な事業			1,179

(2)その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の支出額 (単位:千円)
①駐車場業	えびす駐車場事業 駐車場を経営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を特定非営利活動費に充当する。	(A) 通年 (B) 松原一丁目 (C) 2人	18,651
	佐野駐車場事業 駐車場を経営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を特定非営利活動費に充当する。	(A) 通年 (B) 松原二丁目 (C) 1人	1,375
	① 駐車場業		20,026
②不動産仲介事業	実施しなかった。		

(備考)

- 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。